

陸前高田発

住宅基礎を強制撤去



陸前高田市は復興土地
区画整理事業で、工事
の妨げとなっている今
泉地区の宅地基礎を土
地区画整理法に基づき
地権者に代わり撤去し

ました。市はこの土地の地権者に電話連絡や自宅訪問を行ったものの一度も連絡が取れず、撤去に踏み切りました。県内の復興土地区画整理事業で施行者の自治体が直接建物などを移転したり、撤去したりする「直接施行」は初めてです。

(2/18 ニュースエコー)

釜石発

工事遅れで調整会議

復興公営住宅の整備に遅れが出ている釜石市は、市の中心部で6か所の復興公営住宅を整備している施工業者から工事の進捗状況や課題



を聞く調整会議を開き、遅れの解消を要望しました。釜石市は引き渡しが遅れる見通しの5棟の復興公営住宅について「施工業者の工程管理に明確な不備がある」として、遅延損害金の請求を検討すると発表しました。会議は非公開で行われ、業者からは遅れの原因としてコンクリートの手配がスムーズにいかないことや作業員の宿泊施設不足などが課題として出されたということです。市はほかの施工業者とも調整会議を開き、整備の遅れの解消に向け協議を重ねたいとしています。(2/19 ニュースエコー)

陸前高田発

殉職者を慰霊



警察庁の金高雅仁長官が、陸前高田市の大船渡警察署・仮設高田幹部交番を訪れ、殉職した警察官を慰霊しました。東日本大震災で大

船渡警察署管内では高田幹部交番の3人など6人が殉職しています。金高長官は交番の一角に常設されている殉職者の写真が飾られた祭壇に花を供え、深々と頭を下げて慰霊の気持ちを表しました。

(2/19 ニュースエコー)

宮古発

追悼のろうそく作り



震災から丸5年となる
3月11日に追悼の光
を灯そうと、宮古市で
ろうそく作りが行われ
ました。津波で被災した
中央通商店街の復興に向

けて活動を続けている住民有志「みずき会」が企画したもので、会員らがろうそくを持参し、溶かした後、自分たちで育てたラベンダーの花を入れて香り付きのろうそくを作りました。出来上がった100個のろうそくは3月11日の夕方、商店街の各店で灯されます。(2/19 ニュースエコー)

陸前高田発

布草履で常総市を支援

去年9月の豪雨で被害を受けた茨城県常総市の企業を支援しようと、陸前高田の女性達が被災した布を草履として再生させ売り出しま



した。「陸前高田はまなす会」は被災地に仕事と生きがい、交流を生み出そうと発足した手仕事の会です。「支援の恩返しに」と、常総市のTシャツ工場の布を使った草履作りに取り組みました。布草履はオンラインショップで購入でき、売り上げの1割が、Tシャツ工場に支援金として送られます。(2/21 ニュース)

大船渡発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は大船渡「FMねまらいん」の田村華恵さんが、「大船渡市のPR・CM」について伝えてくれました。撮影は三陸鉄道車両内で行われ、結婚披露宴のイメージで、田村さん自身を始め、公募した大船渡市民120人が参加しました。撮影では結婚式で流れる定番ソングを全て「ばばば」(驚いた時に使用する大船渡の方言)で合唱するなど、ユニークでユーモラスな内容とのことです。CMは120秒CMとして、3月5日からインターネット上で配信予定とのことです。(2/24)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122